

株式会社 イード

「2020年6月期（FY6/20）」

第3四半期 決算補足説明資料

2020年5月15日

iid




- 1 FY20_3Q累計業績の概要 P.2
- 2 新型コロナウイルスの影響について P.14
- 3 セグメントの概要 P.19
- 4 基本情報 P.23



- 1** FY20_3Q累計業績の概要 P.2
- 2 新型コロナウイルスの影響について P.14
- 3 セグメントの概要 P.19
- 4 基本情報 P.23

コロナウイルスの影響を一部受けたものの、売上高は増加 当期純利益は前年並み

(百万円)

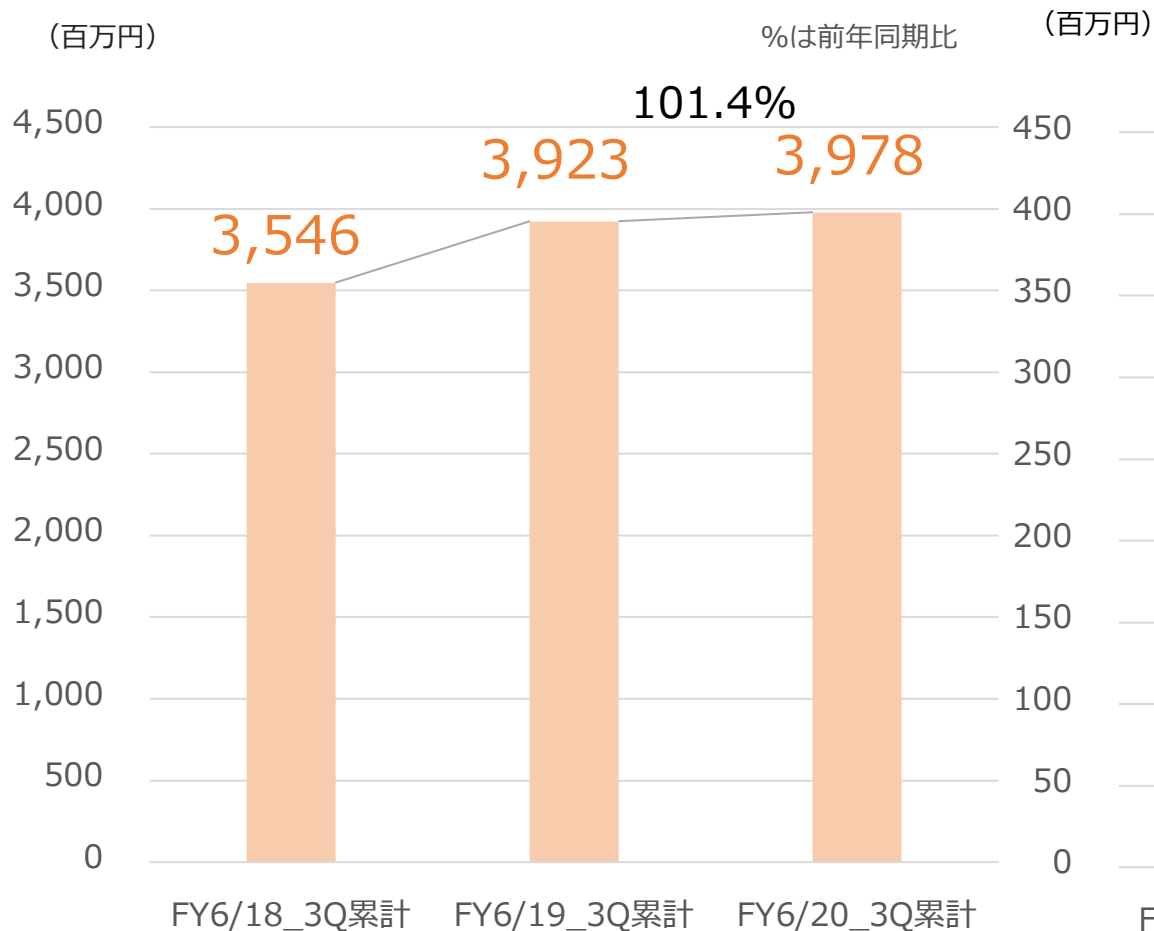
	FY6/19_ 3Q累計	FY6/20_ 3Q累計	前年同期比
売上高	3,923	3,978	 101.4%
売上原価	2,087	2,187	104.8%
売上総利益	1,835	1,791	97.6%
販売費及び一般管理費	1,454	1,461	100.5%
営業利益	381	329	86.4%
営業利益率	9.7%	8.3%	-1.4pt
経常利益	384	330	85.9%
当期純利益	258	248	96.2%

●第1四半期において、子会社株式の一部売却により特別利益27百万円を計上しております。

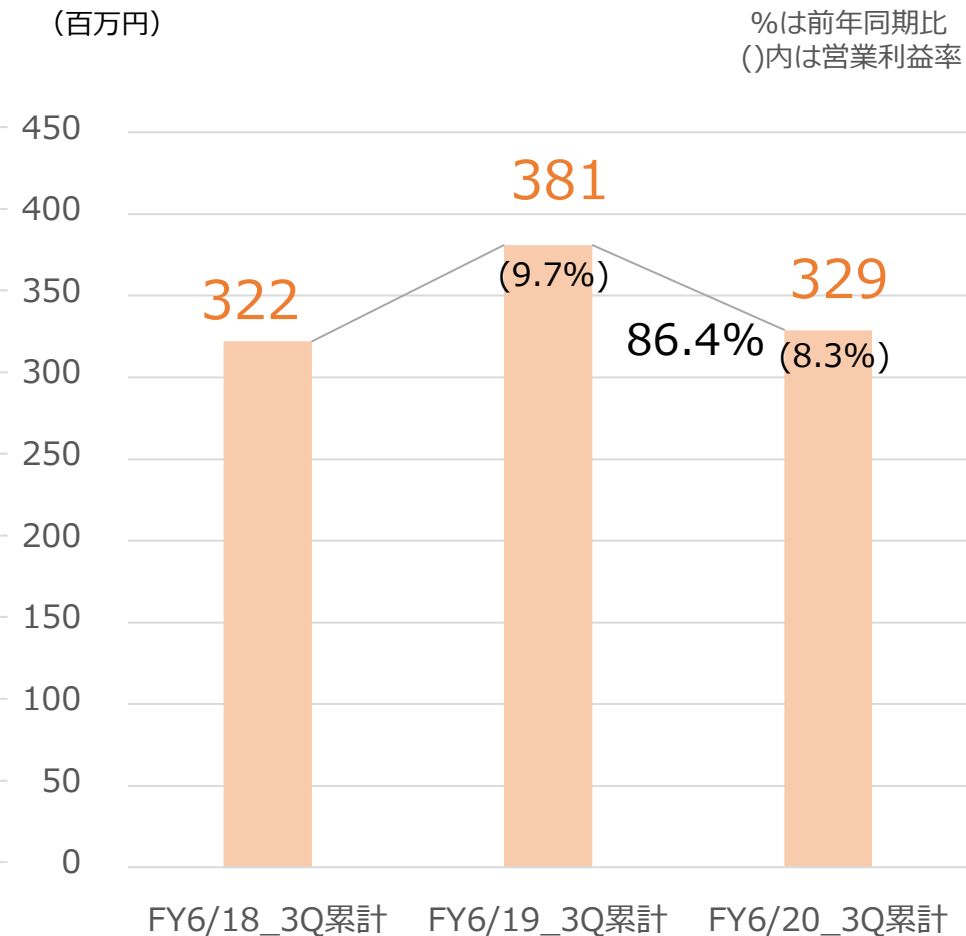
※当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

営業利益は減少したものの、売上高は堅調に推移

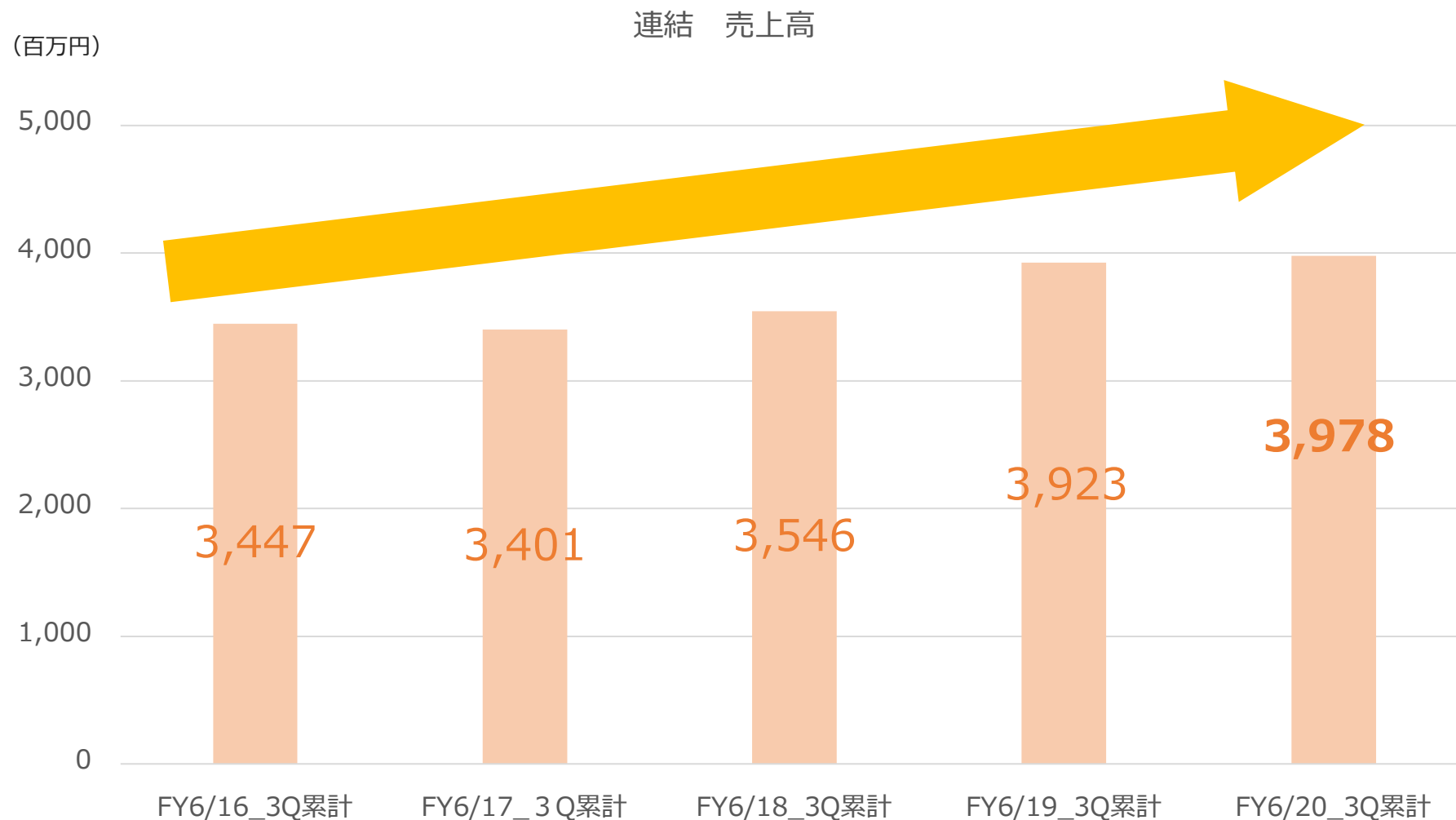
連結 売上高



連結 営業利益

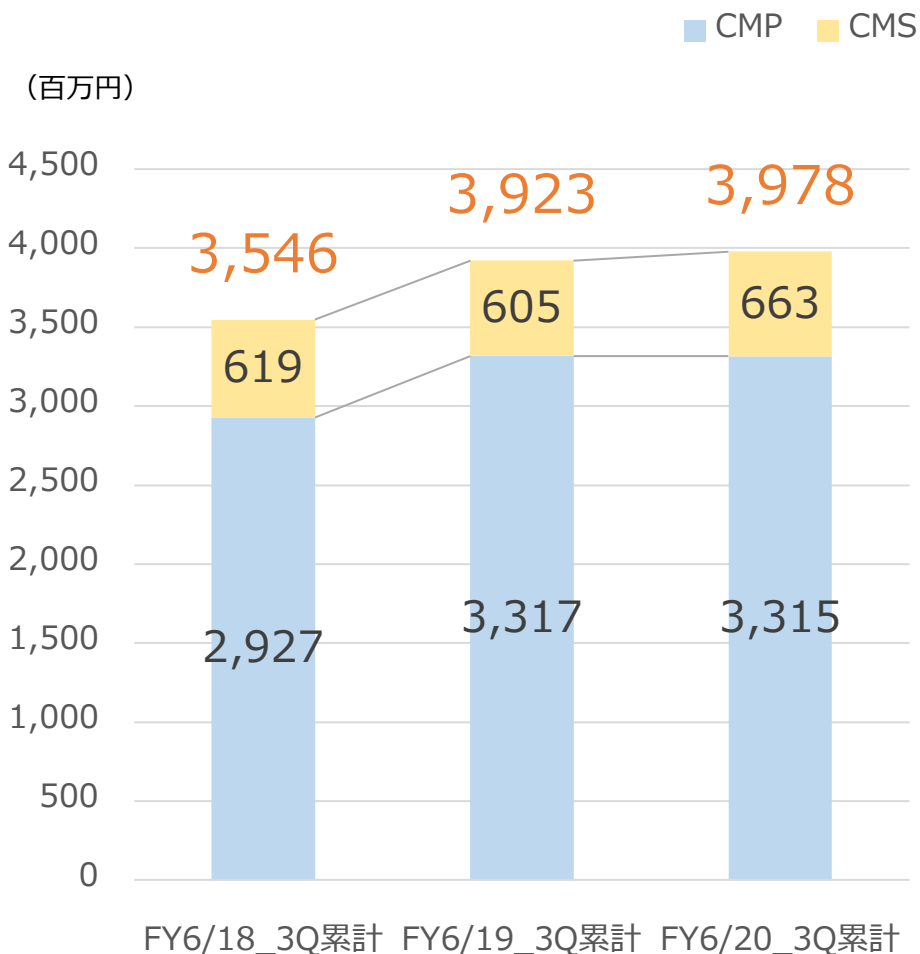


連結売上高は、前年同期比較で過去最高を更新

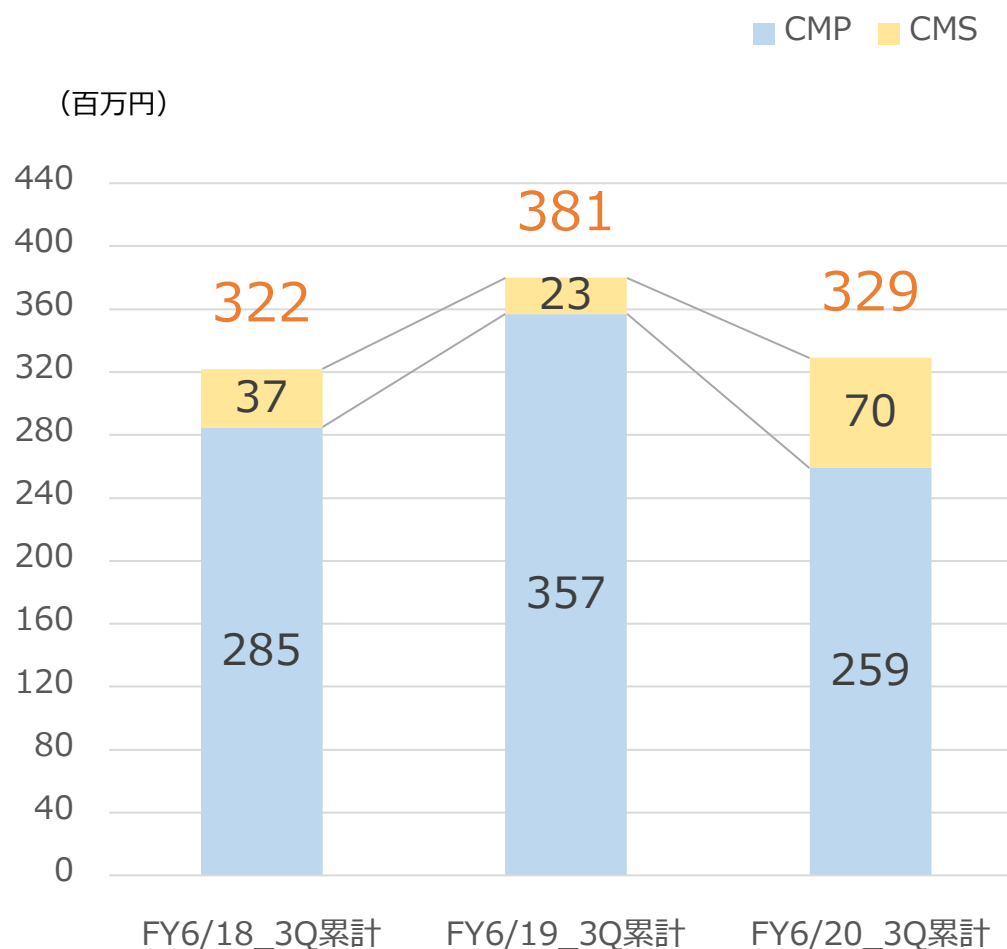


売上高、営業利益ともに従来どおりCMPが連結全体を牽引

連結 売上高

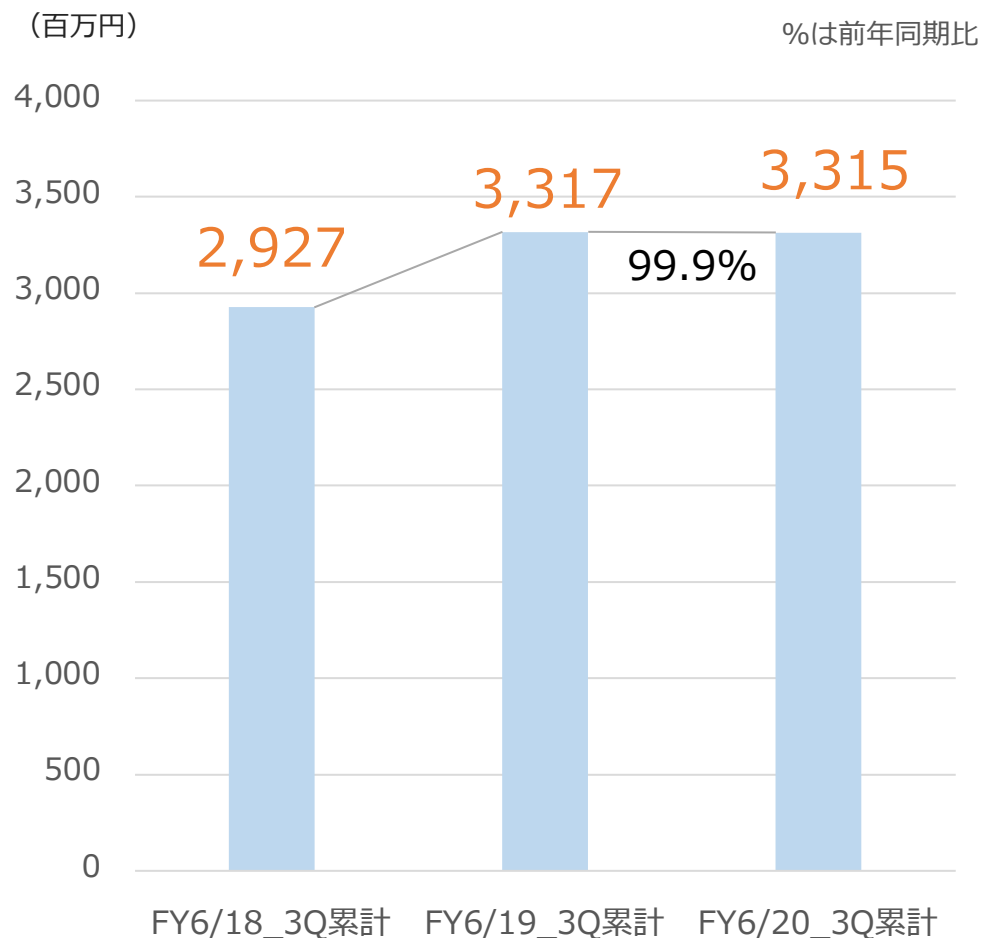


連結 営業利益

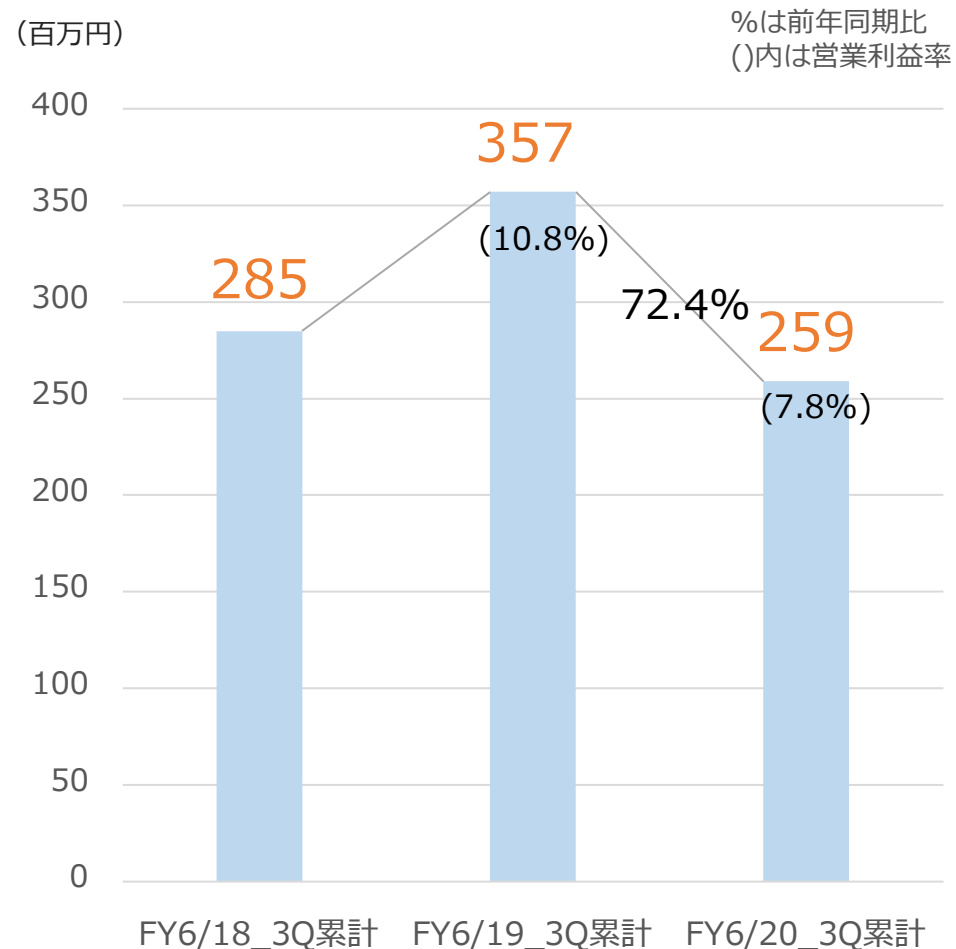


コロナウイルスの影響を一部受け、売上高は前年並みだが営業利益は減少

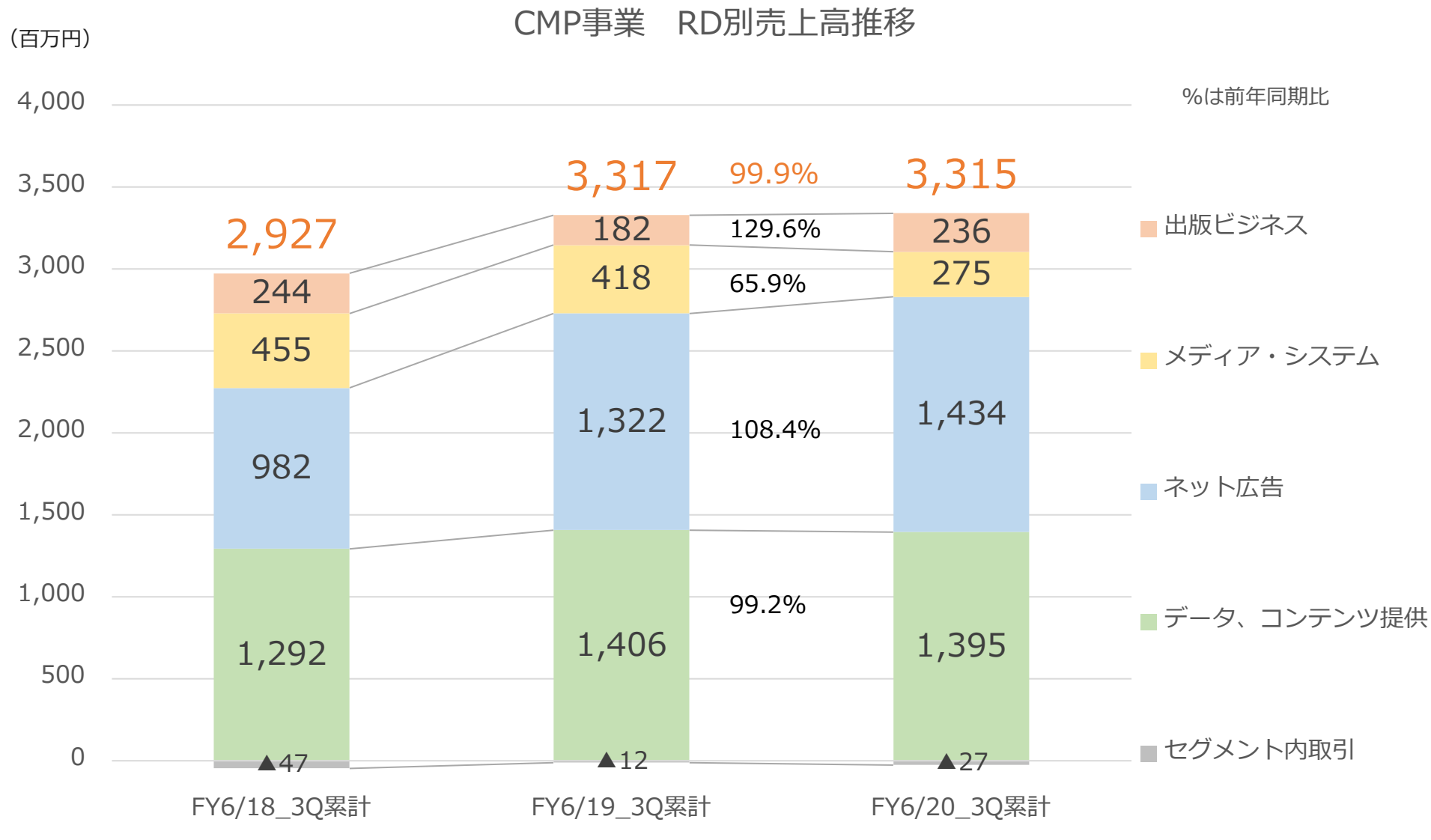
CMP 売上高



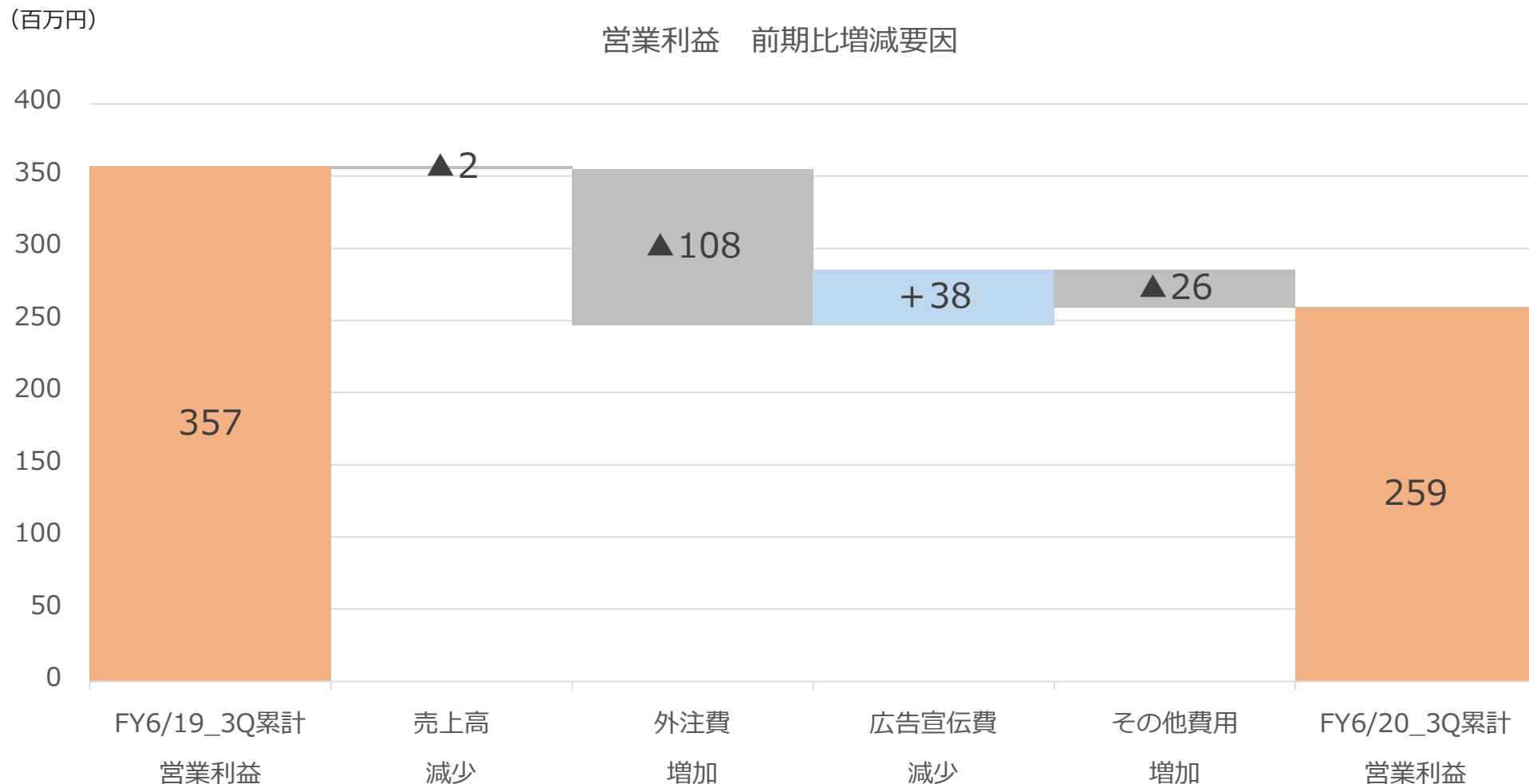
CMP 営業利益



ネット広告は、引き続き堅調に推移

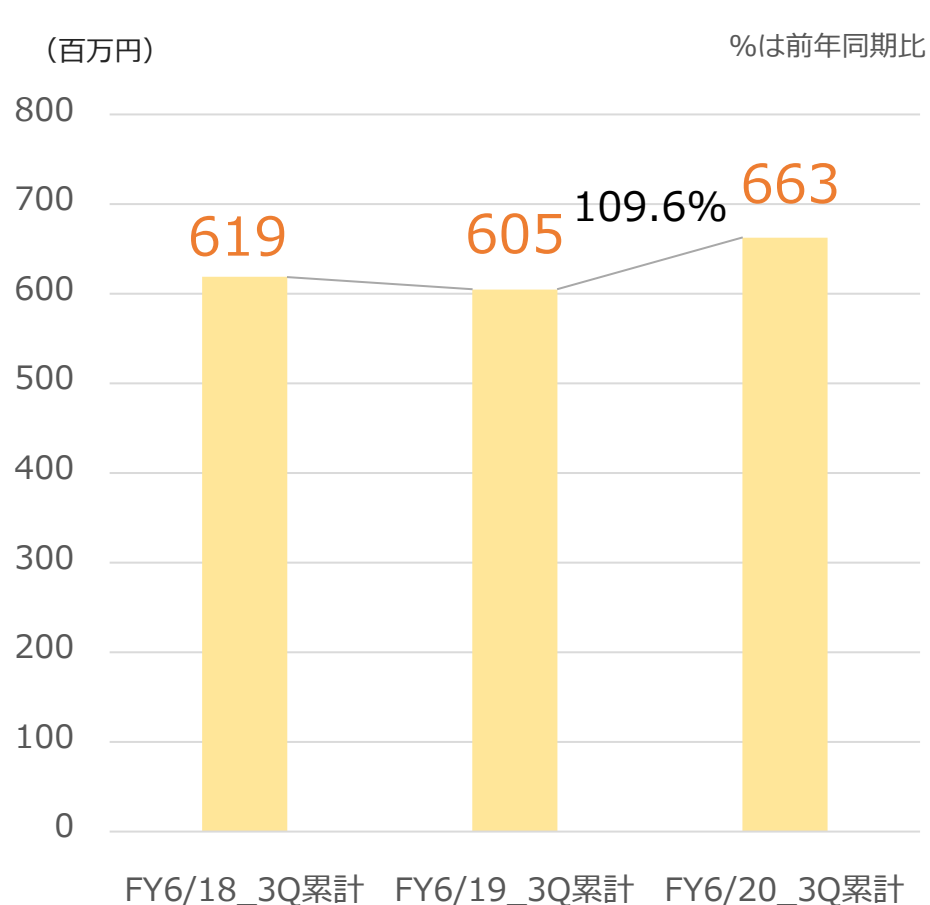


主にネット広告および出版の売上増に伴い外注費が増加

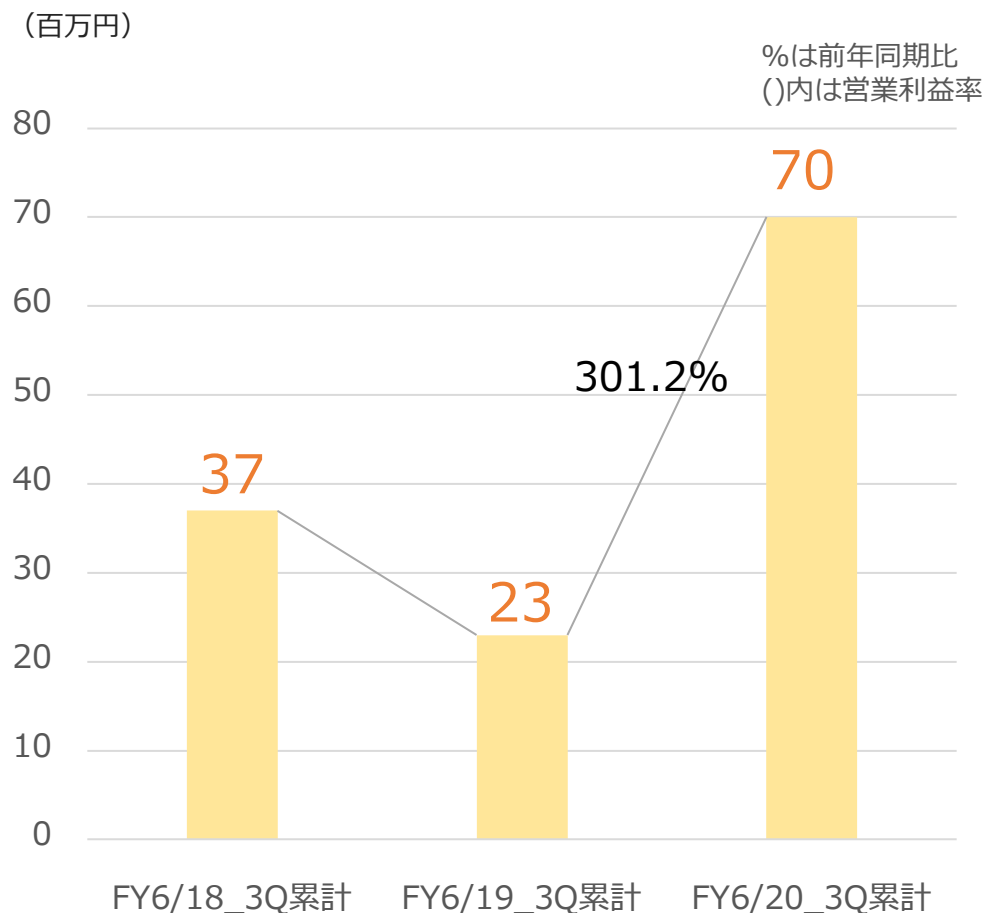


大型案件の受注により売上高、営業利益ともに回復基調

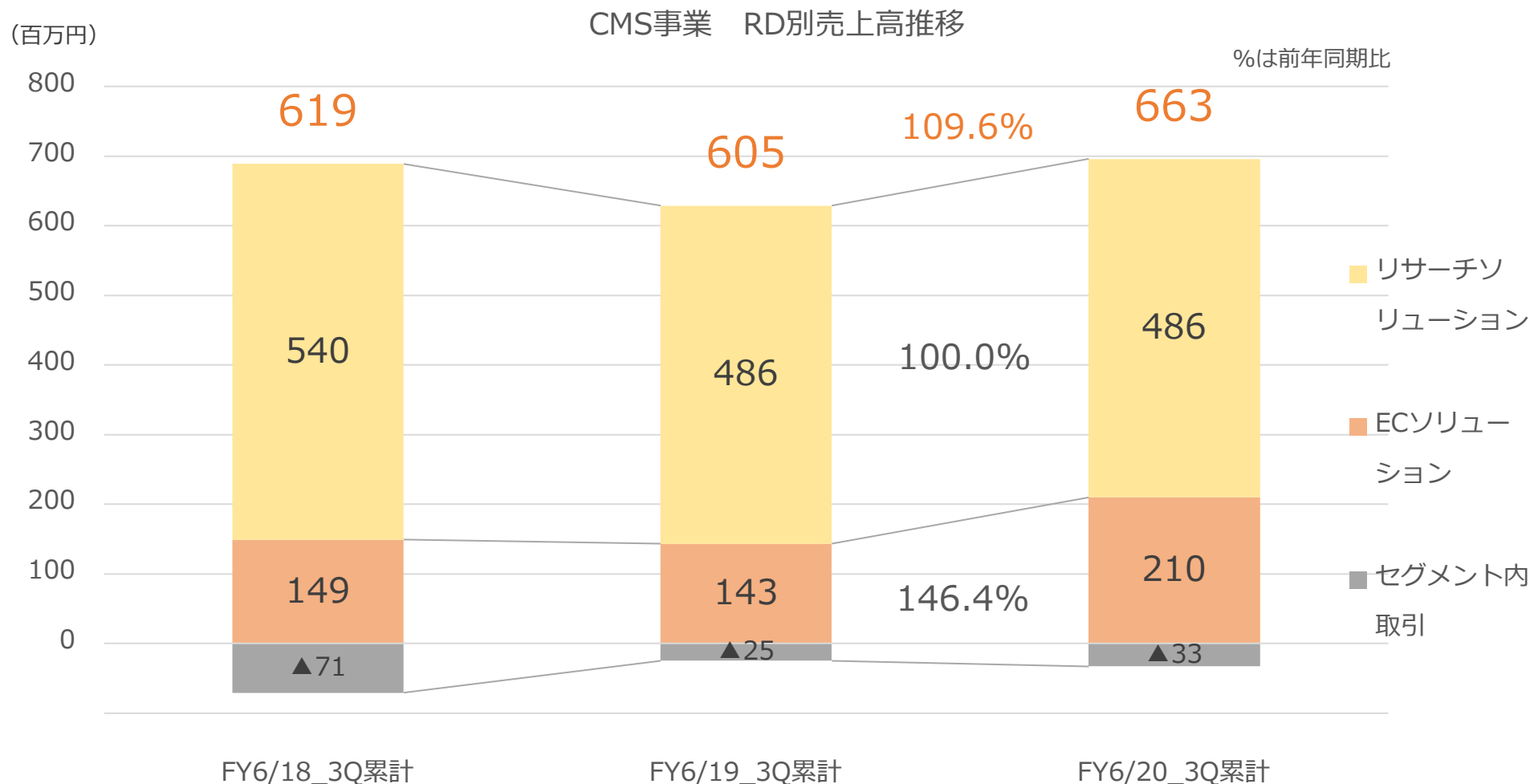
CMS 売上高



CMS 営業利益



前年同期から堅調な増加。特にECソリューションは、大型案件受注により前年同期から46.4%増加



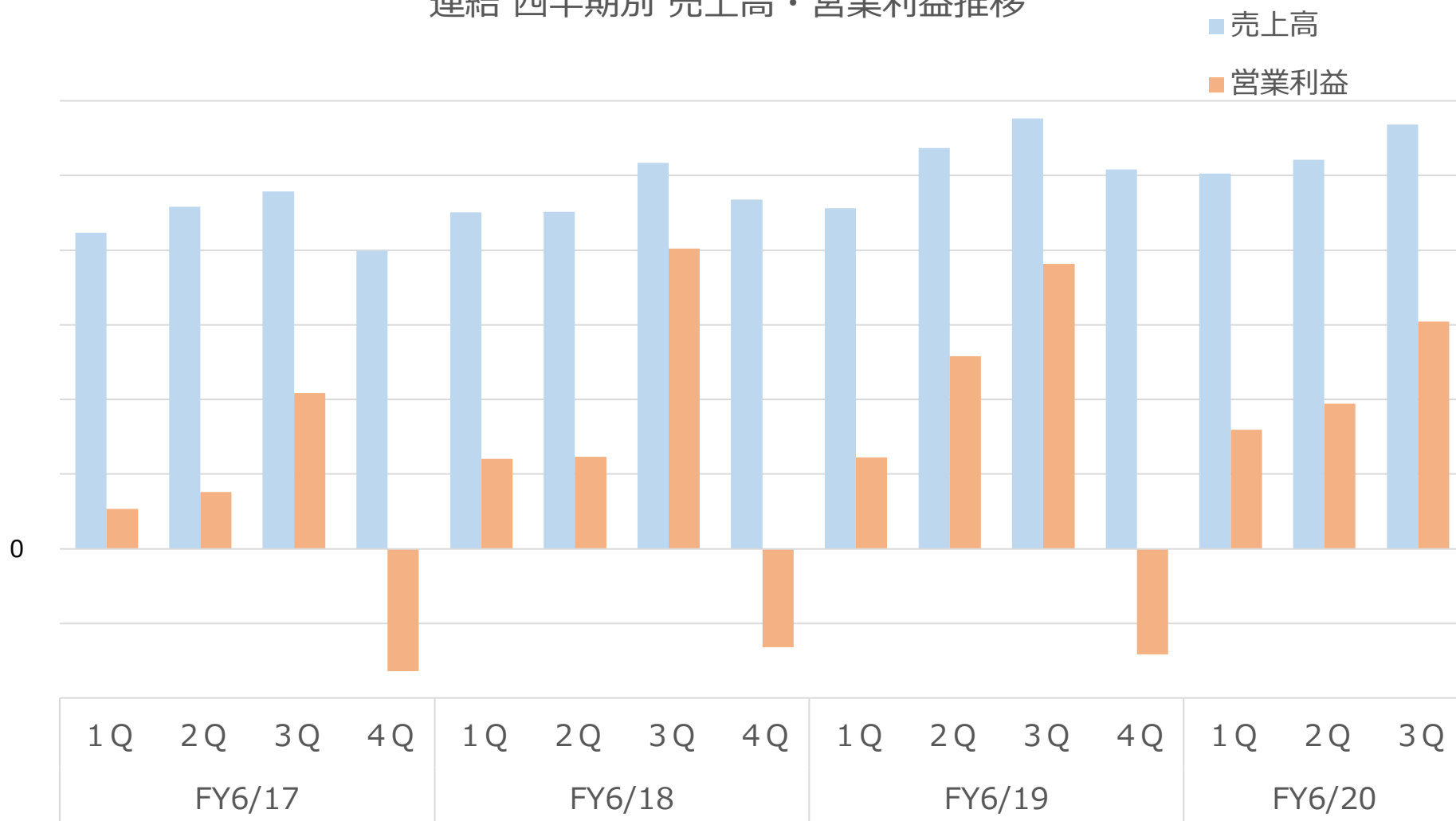
当期純利益※の堅調な積み上げによる利益剰余金の増加と、自己株式の処分(1Q)により純資産が増加

(百万円)

	FY6/19 期末	FY6/20 3Q末	増減額
流動資産	2,429	3,110	+681
現金及び預金	1,526	1,992	+466
固定資産	816	977	+161
のれん	140	279	+139
投資有価証券	319	344	+25
資産合計	3,245	4,088	+843
流動負債	752	820	+68
固定負債	133	161	+28
負債合計	886	981	+95
株主資本	2,302	3,039	+737
利益剰余金	1,071	1,321	+250
自己株式	▲492	▲40	+452
その他の包括利益累計額	1	1	+0
非支配株主持分	55	65	+10
純資産	2,359	3,106	+747
負債・純資産	3,245	4,088	+843

※当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

連結 四半期別 売上高・営業利益推移



- 1 FY20_3Q累計業績の概要 P.2
- 2 新型コロナウイルスの影響について P.14
- 3 セグメントの概要 P.19
- 4 基本情報 P.23



◆1-3Qの業績への影響

- ・2月以降、CMP・CMS両事業セグメントで、一部マイナスの影響がみられるものの、連結業績全体への影響は限定的であった

◆4Qの業績への影響見通し

- ・4月の緊急事態宣言以降、事業環境の厳しさが増しており、大きなマイナスの影響が見込まれる（影響内容については、次ページ参照）
- ・4月以降の状況を踏まえ、今期末（6月末）まで新型コロナウイルスの影響が最大限続く前提で、通期予想を以下のように見直し（緊急事態宣言が解除されても、事業環境の回復に時間を要すると想定）

通期業績	今回修正予想	前回発表予想	増減額
売上高	5,200	5,300	▲100
営業利益	200	350	▲150
経常利益	185	350	▲165
親会社株主に帰属する 当期純利益	130	230	▲100

（百万円）

※新型コロナウイルスの影響が不透明であるため業績予想は保守的に修正

※各事業セグメントへの「マイナスの影響」「プラスの影響」を以下に示す

事業セグメント	マイナスの影響	プラスの影響
CMP	<p>◆クライアント（大手も含め）の広告出稿意欲低下、 広告単価下落傾向 特に、主力クライアントである自動車業界に全世界的な悪影響が見られる</p> <p>◆リアルイベント等が軒並み中止・延期 （展示会、イベント、セミナー、スポーツ、映画・アニメの劇場公開等）</p> <p>→ ニュース系メディアでイベントをフックにした企画提案が困難に</p> <p>→ PV減少、タイアップ広告減少</p> <p>◆全体にクライアントが「自粛・様子見」モード</p> <p>→ 新規取組みの進みが遅い</p>	<p>◆「巣ごもり」常態化で、エンタメニュース系メディアを中心にPV上昇傾向</p> <p>◆「巣ごもり」消費増加で、EC物販事業には好影響</p>
CMS	<p>◆リサーチソリューションは、オフライン市場調査が実施困難のため先送りに（特に海外案件で影響大）</p>	<p>◆ECソリューションには好影響（リアル店舗からECへの移行ニーズが増加）</p>

■ 基本的な認識

直近の今期4Qは影響は避けられないが、来期以降に向けては、新たな環境に対応するための基本的な態勢は整っている

◇多様な事業ポートフォリオ → 一部影響を受ける事業があっても、追い風の事業もある

・手掛けるメディア領域も幅広い → ニーズの変化に合わせて重点をシフトできる

※現在21ジャンル63メディア、従来から常に領域の拡充を図っている

・360度ビジネスを意識 → 新型コロナ影響下の環境に適した対策・新サービスを臨機応変に推進

※広告のみに依存しない収益の多様化を、従来から推進してきている

◇キャッシュポジションに問題なし → 危機＝大変化の中で新たに生まれてくる事業チャンスを逃さない。

・自社開発体制を強化するほか、手持ちキャッシュを活かした事業投資・M&Aも積極的に模索

※優良メディアや事業を獲得する絶好の機会

■ 事業運営上の影響と感染症対策

従業員及び関係者の皆様の安全確保を最優先に対応

◇社内での感染症対策

・2月中旬から時差出勤およびリモートワークを推奨、社内の感染症対策を実施

・4月1日から全社原則在宅勤務：リモートワーク体制へ移行、オンライン会議

◇リモートワークへの対応状況

・以前から、一部事業／職種においてリモートワーク体制を整備・運用しており、全社／全部門の移行にも、事業運営には大きな支障は生じていないが、長期化に備えて随時改善中

■ 具体的な方策

コロナ収束後も継続するオンライン・シフトを新たなビジネスチャンスと捉え順次対応中

◇ オンラインソリューションの提案・商品化により成長機会をつかむ

※展示会・イベント・セミナー・調査等の新たなオンラインシフト施策の提案を強化

4月14日 リシード&リセマム：「バーチャル教育ICT Expo」の開催を発表

4月14日 エンファクトリー：オンラインチームビルディング支援ツール「Teamlancer」で、オンライン飲み会予算付き「On liNE TEAMキャンペーン」を実施

4月27日 シネマカフェ：映画作品の「オンライン試写会」パッケージ提供開始を発表

4月28日 レスポンス：自動車メーカー／サプライヤーのためのオンライン展示会開催を発表

◇ オンライン時代にニーズが高まっていくメディア領域へのシフト

◇ オンライン時代に適したマネタイズ方法の開発

4月10日 AbemaTVの最新情報がチェックできるマイクロサイト「Abema TV Cafe」オープン

4月24日 メディア関係者向け情報サイト「Media Innovation」で有料サブスクリプションサービスを開始

◇ 「リアル小売りからECへ」デジタルトランスフォーメーション（DX）の流れをつかむ

※自社ECサイトの強化、ECソリューション事業の拡大

4月7日 富士山マガジンサービスの合併会社アイデアと文化出版局『ミセス』誌面通販の「ミセス口福便（こうふくびん）」グルメ通販サイトを公開

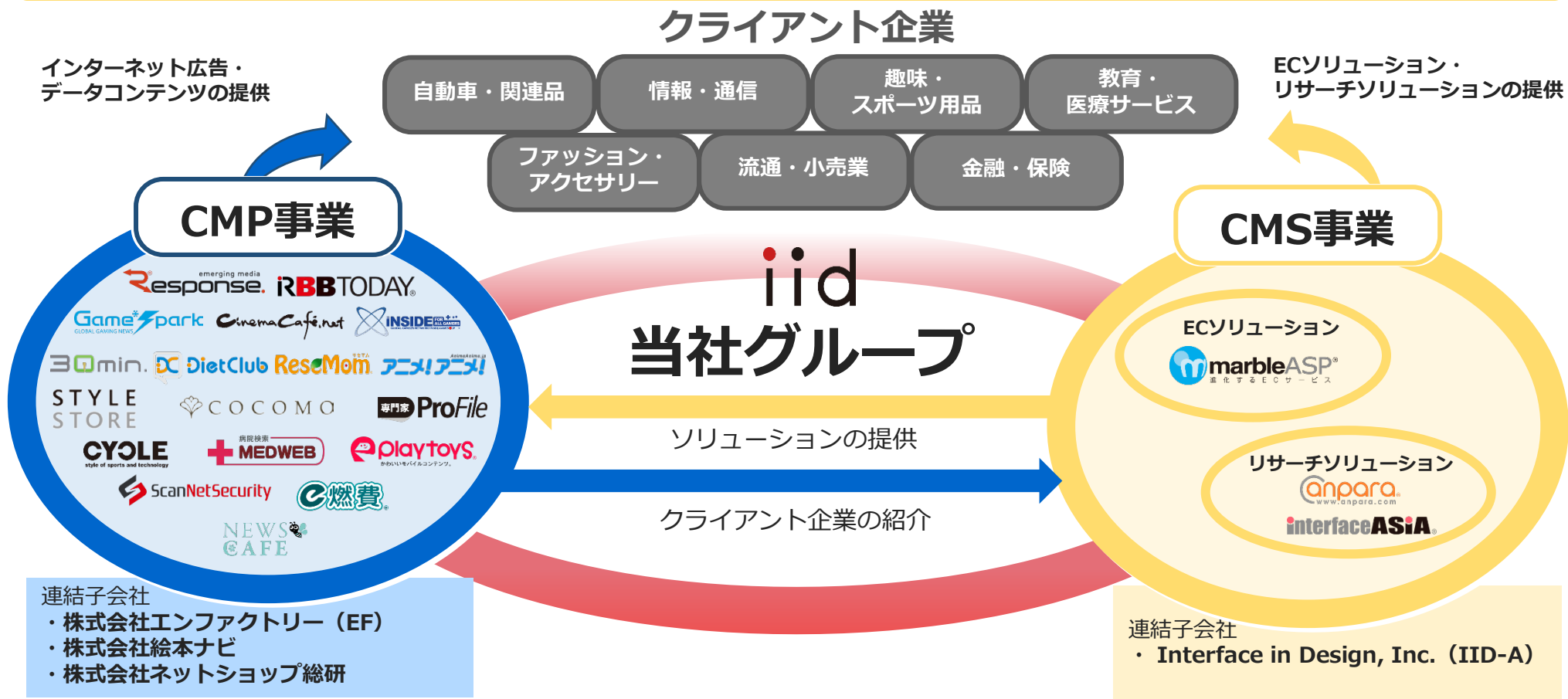


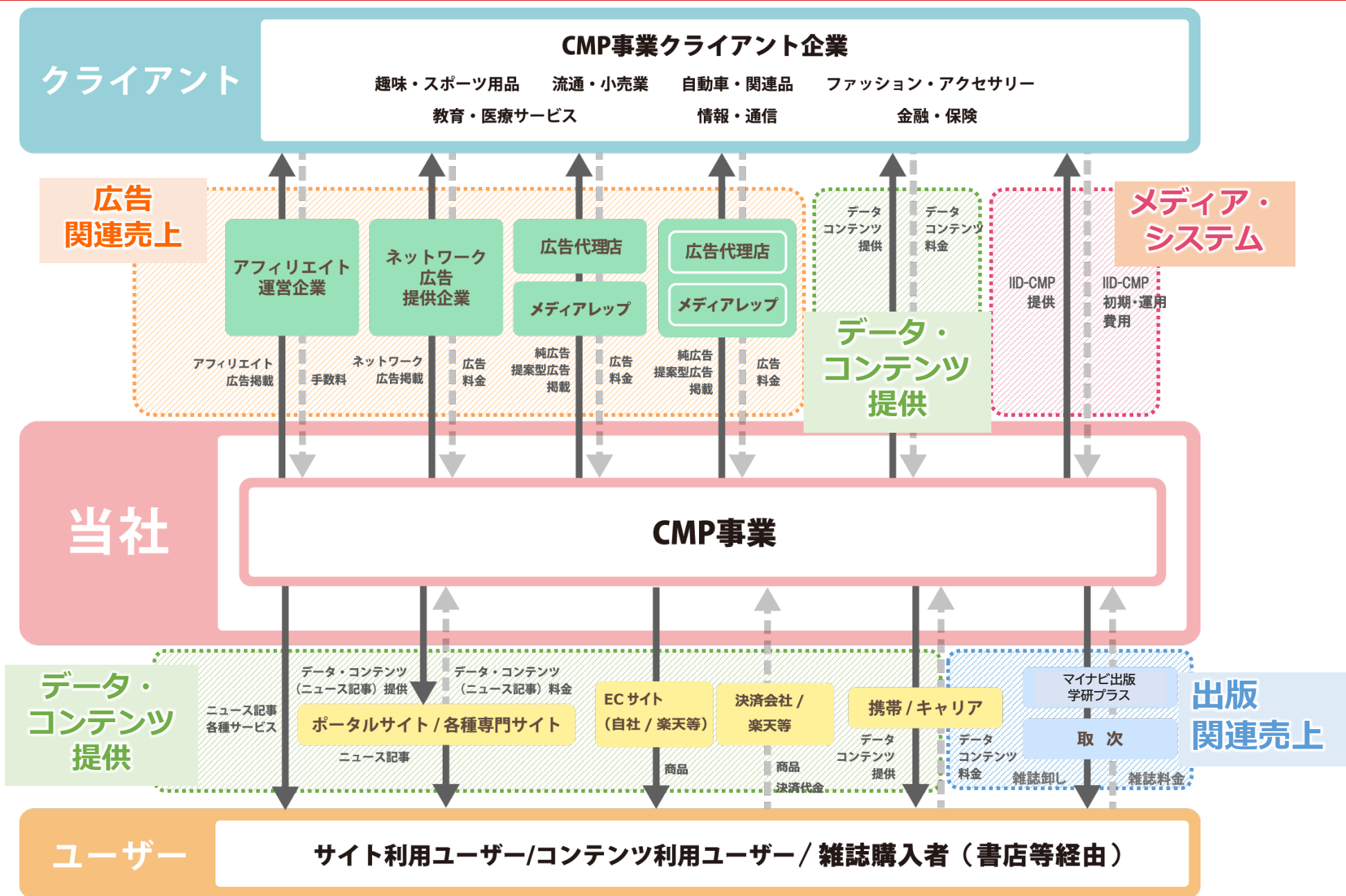
- 1 FY20_3Q累計業績の概要 P.2
- 2 新型コロナウイルスの影響について P.14
- 3 セグメントの概要 P.19**
- 4 基本情報 P.23

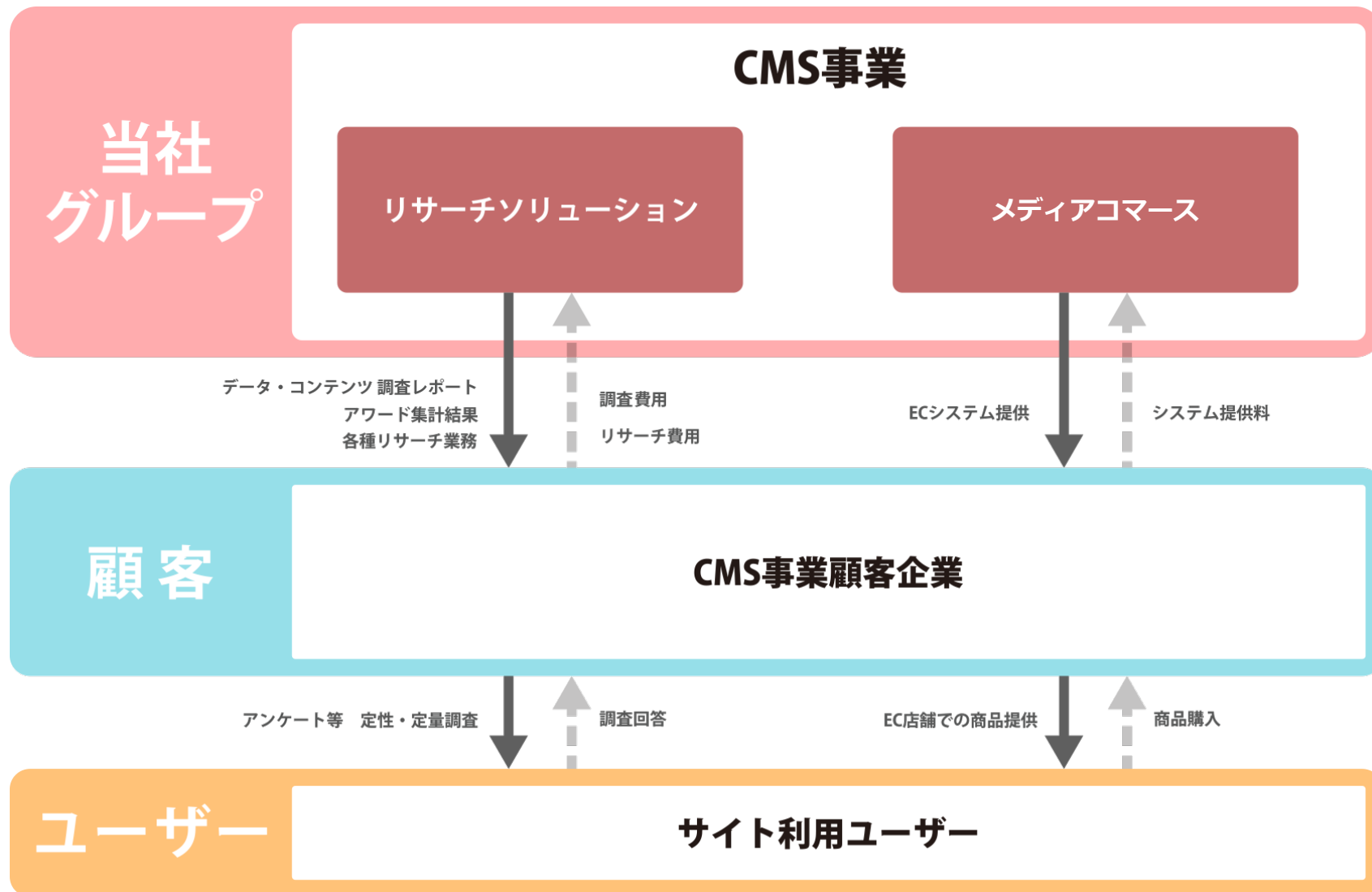
・ 2つのセグメントにて事業を展開

コンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP事業）：Webメディア、Webサービス運営

コンテンツマーケティングソリューション事業（CMS事業）：ソリューションを提供









- 1 FY20_3Q累計業績の概要 P.2
- 2 新型コロナウイルスの影響について P.14
- 3 セグメントの概要 P.19
- 4 基本情報 P.23**

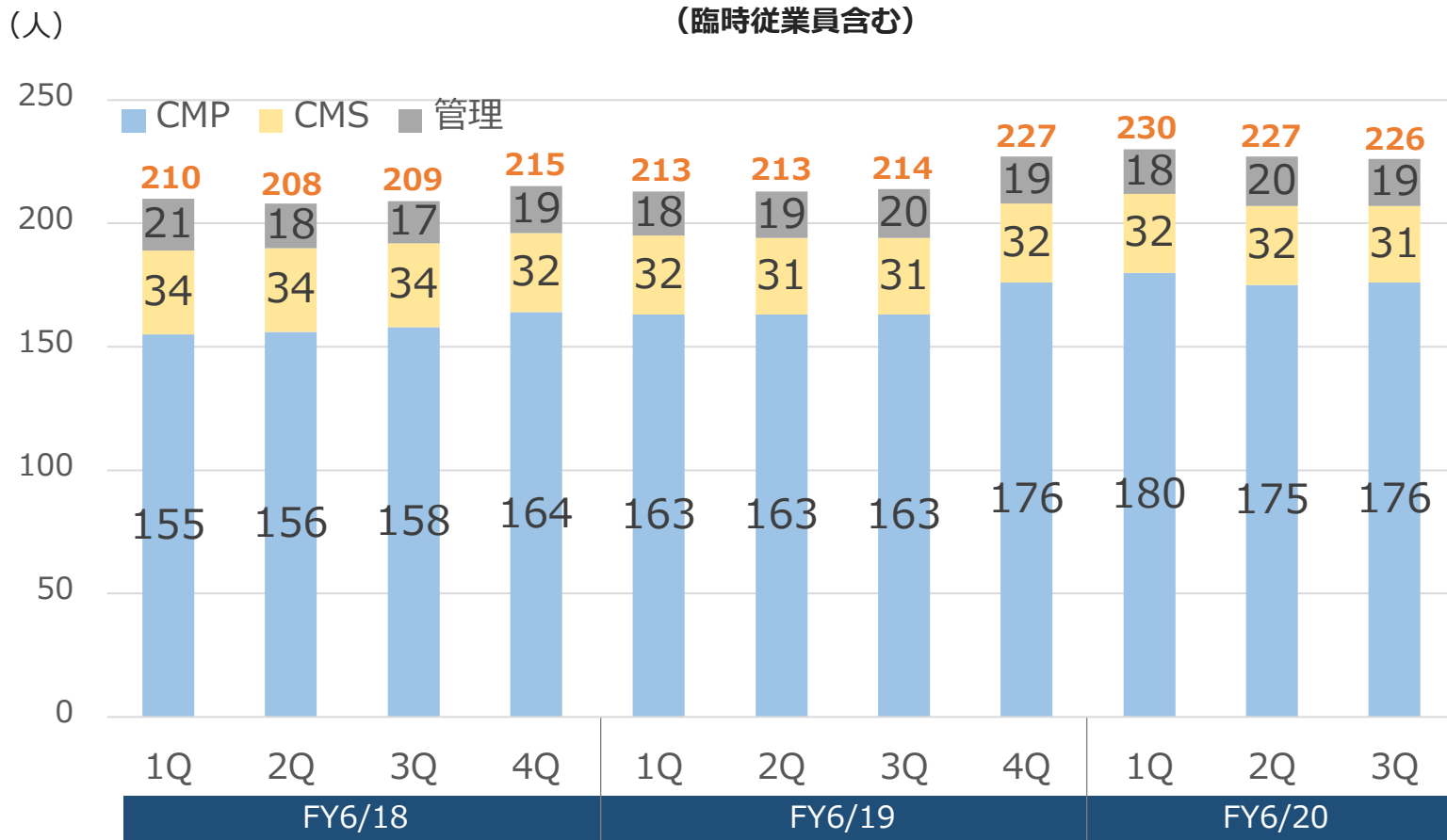
- 商号 株式会社イード (IID,Inc.) ※「IID」は“Interface In Design”の略です。
- 設立年月日 2000年4月28日
- 役員
代表取締役 宮川 洋 (みやかわひろし)
取締役 須田 亨 (すだとおる)
社外取締役 大和田 廣樹 (株式会社IOTスクエア 代表取締役会長)
社外取締役 吉崎 浩一郎 (株式会社グローブ・イニシアティブ 代表取締役)

常勤監査役 山中 純雄
社外監査役 安達 美雄
社外監査役 藤山 剛 (株式会社ラウンドアバウト・キャピタル 代表取締役)
- 子会社
株式会社エンファクトリー (出資比率：83.8%)
Interface in Design, Inc. (同：100%)〔所在地：米国ロサンゼルス〕
株式会社絵本ナビ (同：58.9%)
株式会社ネットショップ総研 (同：90%) ※

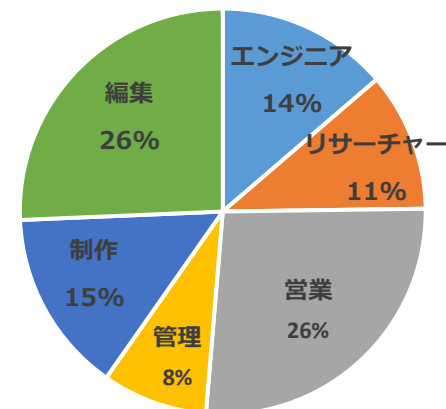
※2020年1月1日付で、株式会社ドリームリンクが株式会社ネットショップ総研を吸収合併し、合併後の社名を株式会社ネットショップ総研といたしました。
- 従業員数 連結：226名 (アルバイト含む)

・エンジニア、編集、制作で過半数以上を占める構成

-セグメント別従業員数推移-
(臨時従業員含む)



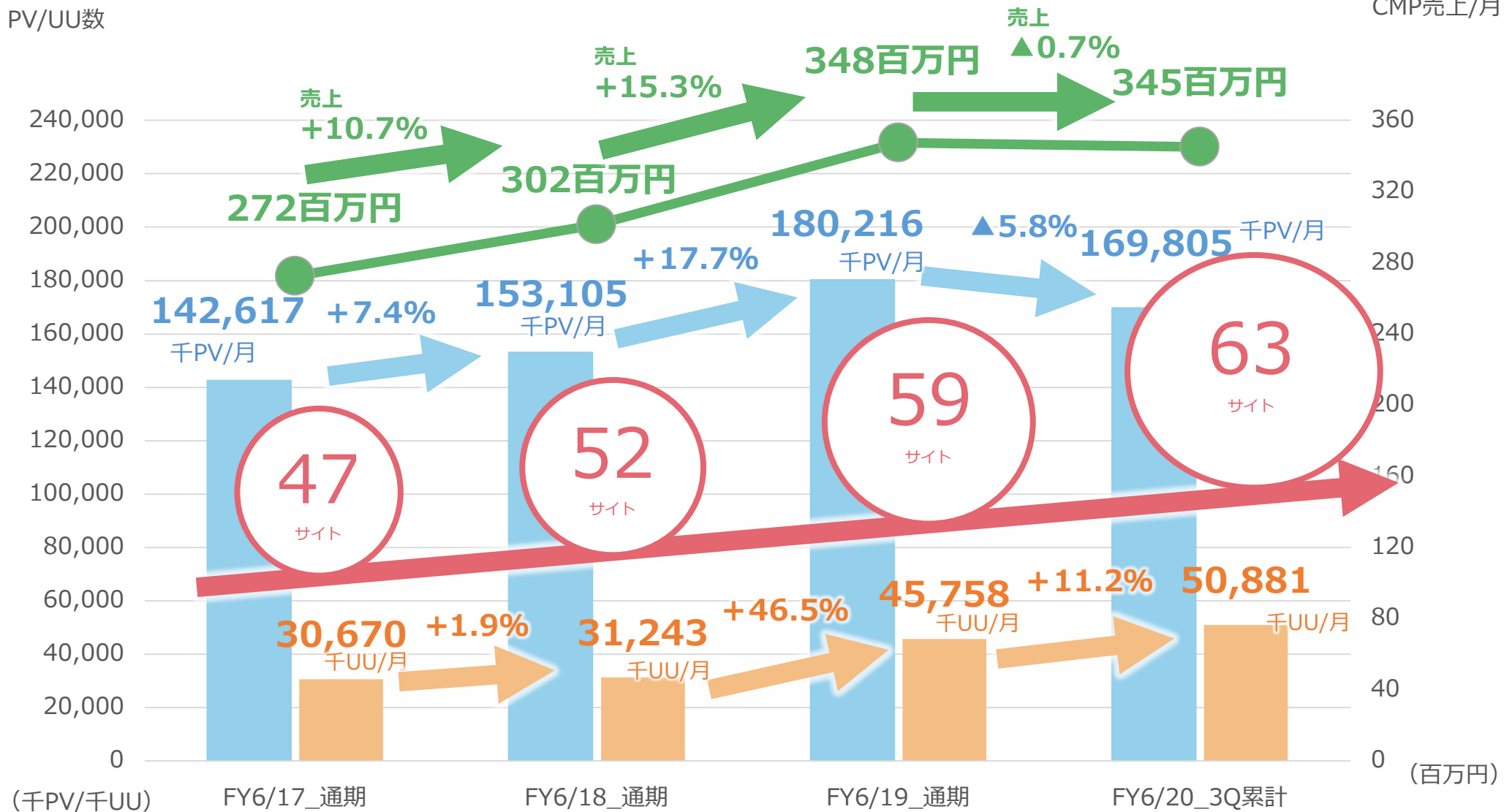
-職種別従業員構成-
(臨時従業員含む)



エンジニア	31
リサーチャー	25
営業	60
管理	19
制作	33
編集	58
	(人)

PV/UU・サイト数・売上 推移 ※FY6/20 3Q末現在

■ PV ■ UU ※PV数、UU数は対象期間月平均値
 ■ CMP事業（出版事業は含まない）の月平均売上



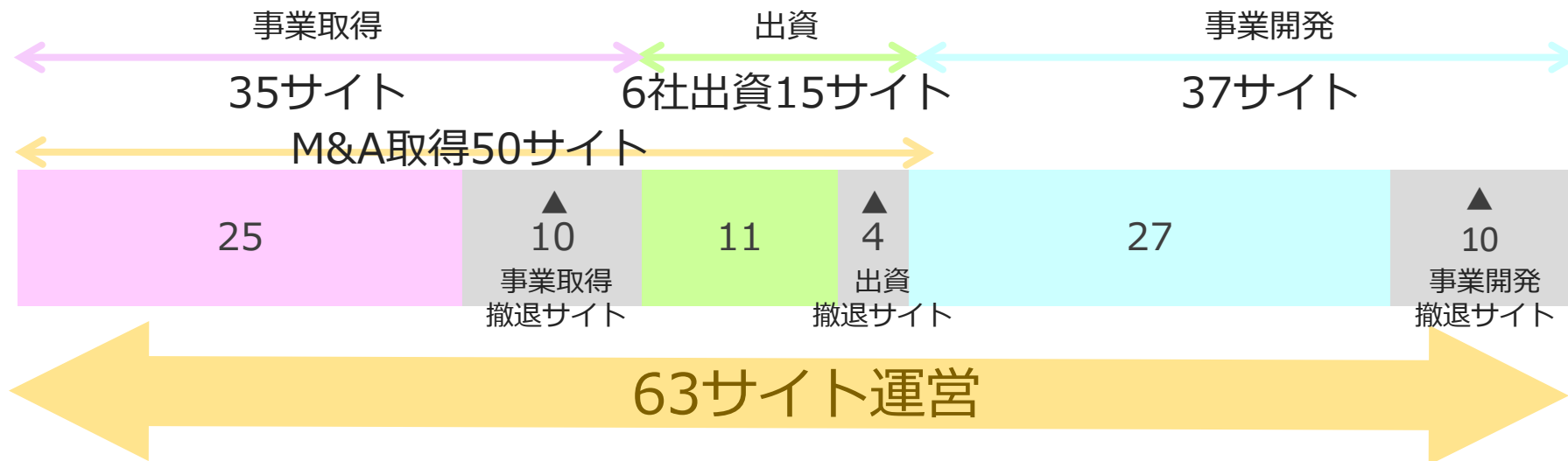
主要運営メディア



メディアジャンル

- IT
- ビジネス
- セキュリティ
- リサーチ
- ユーザビリティ
- 自動車
- 燃費・環境
- エンタメ
- ゲーム
- 映画
- アニメ
- キャラクター
- スポーツ
- 教育
- 医療
- ダイエット
- ペット
- マネー
- 地域情報
- EC・通販
- ビジネスマッチング

・ M&Aで50サイト取得。撤退サイトは14サイト。継続率 72.0%



● M&Aサイト実績

50サイトの取得総額は15億3,254万円。1サイト平均3,070万円で取得

事業取得総額 **8億1,419万円**

※撤退サイト含む

出資総額 **7億1,835万円**

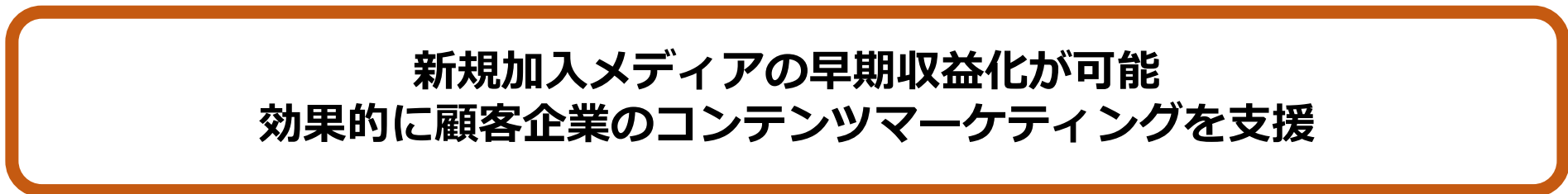
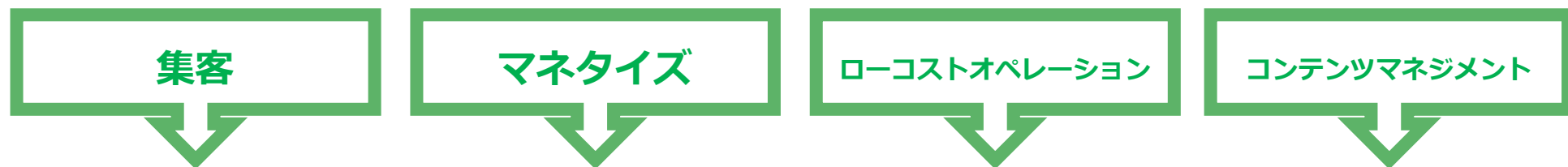
※撤退サイト含む ※CMS事業及び出版事業は含んでおりません

● 戦略投資先（抜粋）

新規事業領域での協業を目的に戦略的な出資を実施

- ・ note（株）：クリエイター向けC2Cプラットフォーム「note」を運営
- ・ キャンピングカー（株）：シェアリングエコノミー、MaaS領域
- ・ ロボットスタート（株）：音声広告プラットフォーム領域

・ M&Aなどで新たに加わったメディアを「iid-CMP」にて運用



・「iid-CMP」の4つの機能で、早期収益化を実現

① 集客

- ・ SEO施策
- ・ SNS対応
- ・ Webページ高速表示
- ・ スマートフォン含めた最適なユーザビリティ、ユーザーエクスペリエンス

 **売上UP**

② マネタイズ

- ・ ネットワーク広告の最適化
- ・ 広告商品開発
- ・ 営業リソースの投入
- ・ イードメディアとのクロスセールス

 **売上UP**

③ ローコストオペレーション

- ・ システムの共用、CPUリソース分散機能
- ・ ポータルサイトへのニュース記事提供フォーマット共有化
- ・ 記事交換機能

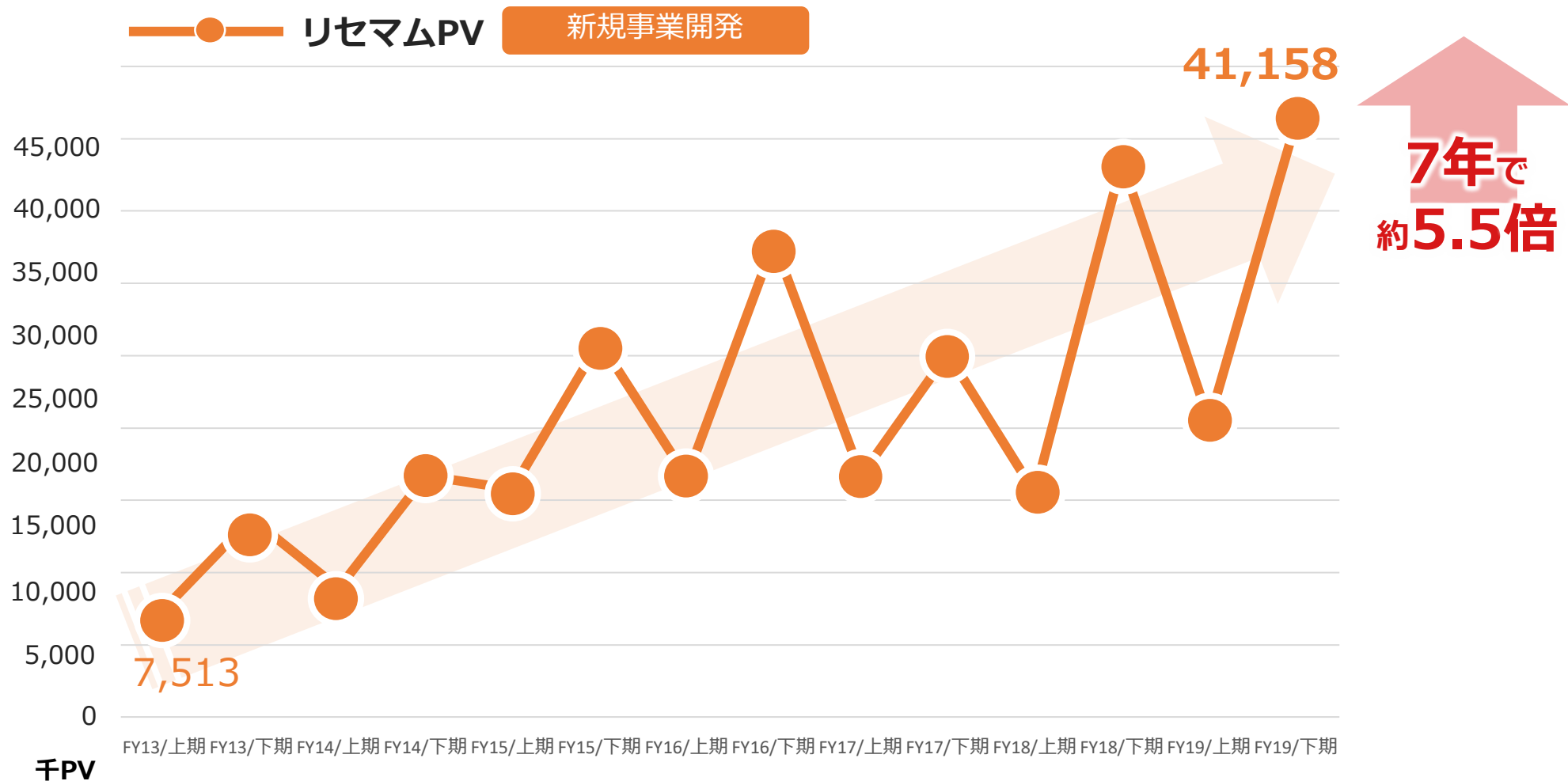
 **コスト最適化**

④ コンテンツマネジメント

- ・ ニュース記事、ニュース写真投稿
- ・ 文章校正、類似度チェック、盗用コンテンツの公開防止

 **編集効率化**

・「iid-CMP」上でのサイト運用によるSEO施策や記事交換機能等によりサイト規模が拡大



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。

iid

We are the User Experience Company.

株式会社 イード

www.iid.co.jp